



ほんなこてゆたたり



文責 校長 平井 敏博

令和4年度教育目標 目指すは、“とことん学び続け、とことん学び合う人”



3年生の水泳の授業の様子です。準備運動をして、シャワーを浴びて、盛り上がり、活動に入りました。(多良中学校プールにて)



水遊び・水泳の授業にて

～これから求められる力が、とても分かりやすい～

御免なさい。ちょっと、小難しく書いてしまいます。

今、義務教育で、すべての教科・領域で、求められる力(つけたい力)は、次の3つです。総称して、“生きる力”と呼ばれることもあります。

- 知識及び技能
- 思考力・判断力・表現力
- 学びに向かう力、人間性など

水遊び・水泳の授業で、このことが、とても分かりやすいので、今回、取り上げてみました。

- 知識及び技能…顔付け、浮く、けのび、息継ぎ、泳法等
- 思考力・判断力・表現力…どうしたら、上手になるのか、考えて活動を工夫する、等
- 学びに向かう力、人間性など…自分のめあてを意識し、活動し、ふりかえる。めあて達成に向けて根気強く取り組むことができる。友達と知恵を出し合ったり、協力したりする。等

今の授業は、「教師の笛の合図で、一斉に、バタ足をする。」というようなものではありません。今持っている知識・技能の個人差も、大きいです。まず、自分の現在の力を確認した上で、自分のめあてを決め、その達成のためにチャレンジしていきます。（ここで、教師のしかけも必要です。）

めあてを決めて、その達成のために根気強く取り組むことができると、技能も、確実に伸びていきます。今持っている技能の高低に関係はありません。ここが、とても大事です。持っている技能が高くても、あれやこれやとつまみ食いしていると、思ったように伸びないということも起こります。わたしたち教師に求められているのは、いかに学びに向かう力を定着させ、生涯にわたって、自分の成長、伸び、変容を目指して、自ら積極的に行動できる人を育てるかということです。

本当に、しつこいですが、今年度の多良小学校の教育目標は、「目指すは、“とことん学び続け、とことん学び合う人”」です。

【お知らせ・お願い】子ども達の安全・安心のために

昨日、太良町教育委員会より、注意喚起のメールが、全保護者の皆様に送付されました。内容は、犯罪予告のメールが、全国のいろいろなところに行きわたっているというものです。

今朝、校門のところで、子ども達を迎えていると、

「先生、^{こわ}恐かあ。」という子もいました。

「学校の先生も、お家の人も、警察の人も、大人みんなで守るけん、心配せんでよかよ。」

と、伝えたところです。

本日、本校では、(たまたま)不審者対応の避難訓練を予定しておりましたので、そこでも、子ども達に、対応を説明しました。

必要以上の不安を高めず、以下のことを、落ち着いて行います。

- 職員の下校指導・見守り
- 複数下校の奨励
- 危険を感じた時の、防犯ブザーの使用 110番の家の活用 即座の大人への連絡

お家の方々につきましても、積極的に見守っていただければ、幸いです。